

今週の富大生

Weekly
TOMIDASEI

第24号

理工学研究科 理工学専攻
都市・交通デザイン学プログラム
設計マネジメント研究室
修士2年
愛知県立安城高等学校
(愛知県)



建物をつくることに携われる進路

幼い頃から、名古屋駅や旅行先で見る大きな建物に魅力を感じていました。高校生の頃に、きれいな建物をつくることに携わりたいと思うようになり、建築士か土木の技術士を目指すことにしました。

「富山」という環境

富山に来てみて、まず感じたことは、富山駅前がきれいなことと、ご飯がおいしいということですね。大学と富山駅も近く、まさにコンパクトシティということを感じられます。

都市・交通デザイン学科では「まちなか授業」という講義があります。最初は「外に出るのか、大変そうだな」と思いましたが、今思うとLRTなど先進的な取り組みをしているまちなかに出て、触れ合う機会があったことは良かったです。



景観デザインをやってみたい

「景観デザインがやりたい」と思っていたので、まちのデザインをメインに研究している久保田先生の設計マネジメント研究室に4年次に入りました。卒業研究とは別で、「【勝手に提案】富山のための都市デザイン」というデザインプロジェクトがあるのも、楽しそうだと思いました。

機会があれば積極的に

先生からの勧めで、「グッドデザイン賞」（公益財団法人日本デザイン振興会が主催）の審査会運営のお手伝いをさせていただく機会に参加しました。「グッドデザイン賞」は、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨のしくみで、「Gマーク」でおなじみです。様々な分野のプロフェッショナルである審査員の方々がどこをみて何を評価しているのか、間近で見ることができました。新たな発見があり気づきの多い、貴重な機会でした。



全映協グランプリ2024で最優秀賞を受賞した「【勝手に提案】富山のための都市デザイン_05 神通グリーンベルト」の動画はこちら

デザインプロジェクトと研究の充実

デザインプロジェクトでは毎年「全映協グランプリ」（一般社団法人全国地域映像団体協議会が主催）に出場しています。今年は、僕を含む修士2年の二人が研究室の代表として参加し、学生部門の最優秀賞を受賞しました。

天候条件が良くないと映像にする素材を集められなかったり、編集にかなりの時間がかかるなど大変なことも多くありました。結果として大きな評価を得ることができました。

高校生の時に迷っていた進路も、幅広い学びのなかで固まっていきました。

卒業後は、全国規模に展開している建築・土木・環境分野に展開している企業への就職を予定しています。インフラからまちづくりに貢献できるように、技術士の資格の早期取得を目指して頑張ります！